



あなたと
ふたりの
エトセトラ

Victor Nikiforov × Yuri Katsuki



づいも

4P~23P



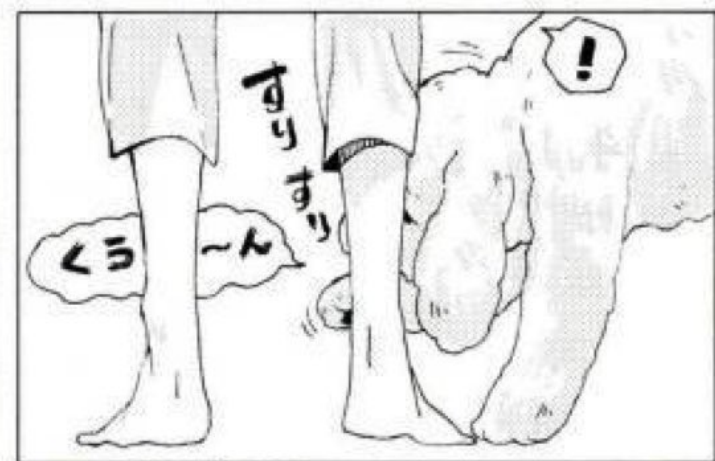
不鮮明だった花の色が

鮮明に彩られ

やがてその名が

愛だと知る





どうすればいいと思う？





ヴィクトルも

悪酔いしたり
するんだ…

昨日は二人して
酒を煽った

ヴィクトルは酒に
強みたいだけど



昨日は結構
飲んでたみたいだし

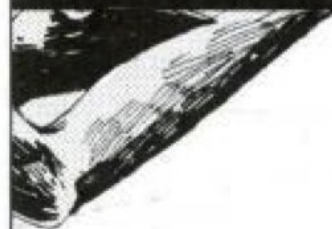


きっとあのキスは
酒のせい…

どうしよう
……

まて

なのに



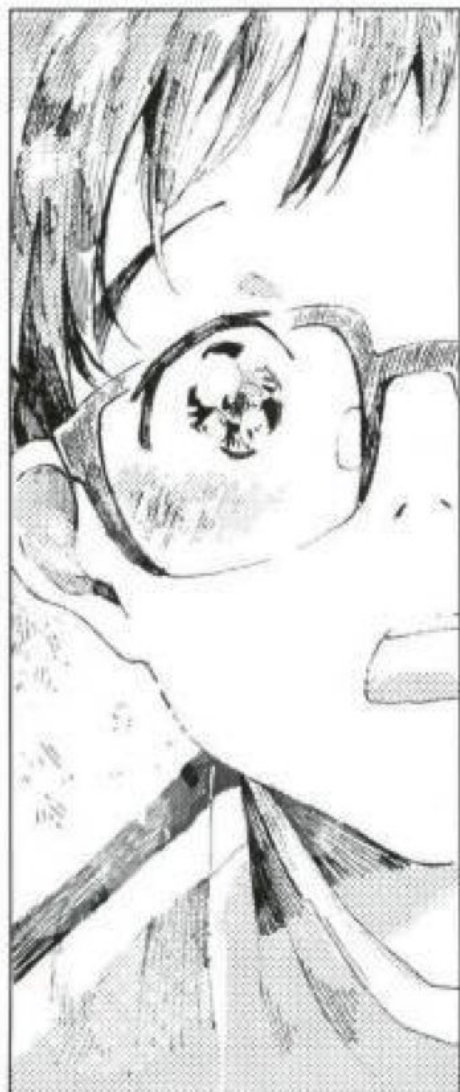
今近くにいれば
きっと抑えられなくなる

憧れとして、
コーチとしてじゃない
好き、が。

ごめんヴィクトル、
突然のキスに怒って
避けてるわけじゃ
ないんだ

ただ恥ずかしくて
きつと
目も合わせられない
から

だってこれが





僕の

報われない初恋だと
気づいてしまったから

だからお願い、

僕に少し時間を下さい

この気持ちを

心の底に沈めるために

ちゃんと生徒とコーチの

関係でいられるように

頑張るから

伝えて関係が壊れるなら

言わない方が断然良い



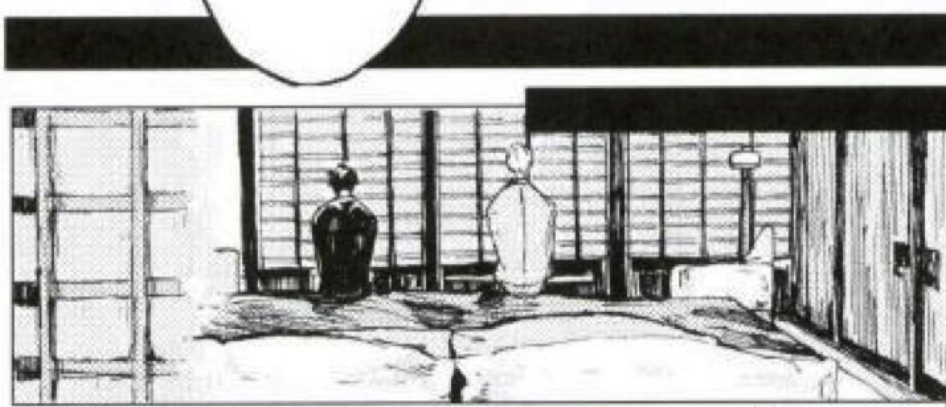
話がしたい

ちゃんと



ただいま

勇利



昨日のこと
だよ

良いよ別に
怒ってないし



想いを

酒の勢い
だったんでしょ？

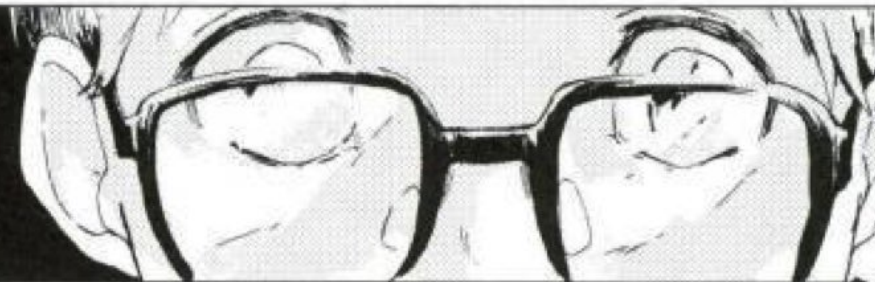
隠せ、僕

僕だって飲むと
人のこと言えな、

勇利

酒のせいじゃない

あのキスは



じゃあ

なんであの時
キスなんか

つえ、
何その顔

と。
ゆっくり

え

まさか
覚えてない…?

あの時

わっ
もうすぐだよー



プロポーズ





手を繋いだり

ハグしたり
キスしたり

スケート以外の
ヴィクトルも欲しい
って思うのは

憧れてる人だから
なのかなあ...?
ねえヴィクトルなら

分かる—?

って

えい
♡
もし7
1P目に
戻ら。

へっ!?そ、
それはッ

え—

何言ってるの
覚えてないよ!?

僕—!?
全く! At all!!

どどどど

どどどど

や、
違ッ

酒に吞まれて
大事なところの記憶がない男

嗚呼 予(00)

どう答えるのが



違うの？



正解なんだろう



俺も同じこと考えてた
って言ったなら
笑う？



ずっと前から
勇利が好きだよ

コーチとしてじゃなくて



ぶわわわ



ヴィクトルニキフオロフとして
勇利を愛してる

いつか俺も勇利と
そんな関係になりたいと
思ってた

でも今
勇利は俺の生徒だ

コーチとしての俺を
信頼してくれてる勇利に
立場を利用して近づこう
なんて

汚いだろう？
だから
気持ちを押し殺してたのに





勇利がこじ開けた



ヴィクトルも



勝手な判断で
嫌な思いをさせて
ごめん

もう二度と
こんな話はしない

違う

まって

俺の気持ちを
聞いてくれてありがとう

覚えてないってことは
お酒混じりのジョーク
だったのかな

でも

同じこと考えてたんだ…



じわぁ…

枯らしたん

はっ

色も名前も知らず
育ててきた僕の花



コーチとして
歩み寄ってくれる度に
枯れていく気がしていた
僕の花



ひと目見たときから
「憧れ」以上に
大きく、スクスク
育っていった花

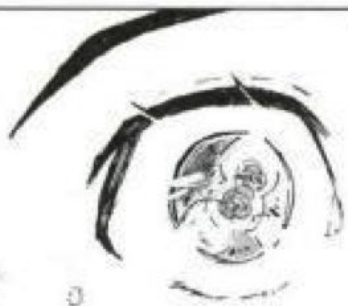


今まで分からなかった
けど、昨日のキスで
はっきりと自覚した

色も、名前も



今なら



鮮明にわか



真っ赤なこの



花の名が





酒のせいじゃないよ
ヴィクトルが好き、
愛してる



ぽろ
ヴィクトルが
好き
ぽろ



あつたの



ごめん勇利
試すようなこと
言っでごめん

……

ぽろ

ぽろ

勇利
顔だけでいいから
答えて？



俺のこと好き？



恋愛対象として？

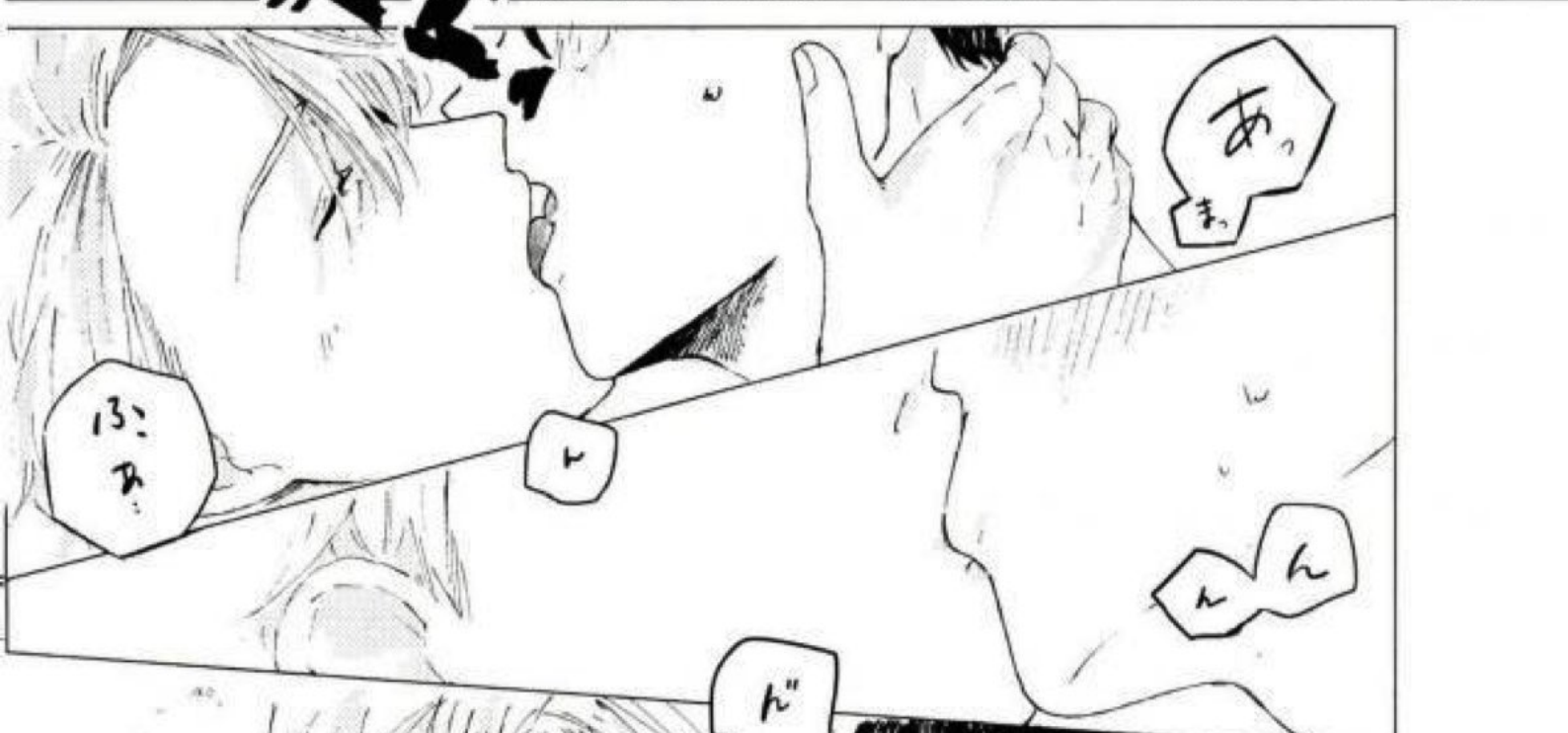


俺と付き合う？



キスして







るーむ

25P~36P

今日で勇利と恋人に
なってから半年と1か月。

勇利がサンクトペテルブルクに
移ってきてまだ日は浅いけど
こっちの生活にも慣れてきた頃。

時々喧嘩もするけど…

所謂「バカップル」と
言われても
おかしくないような…

そういう良い関係
なんじゃないかな。



例えば…
一緒に寝ること。

恋人になってから
するようになった
ことも多い。



すず

あとは

長谷津に居るときも、
時々一緒に寝る
ことはあったけど

毎日寝ることは
しなかったし
なかったかな。



ぎゅ

俺の事が好きなんだって
伝わってきて…
勇利とのキスは大好きだ。

多分勇利



舌を絡めれば
すぐにとろとろ
なって可愛いん



恋人のキス

こうして、順調に
恋人としての生活を
楽しんでいる訳なんだけど

もうお互いの肌を重ねても
良い頃だと思っただよね。

うーん…

勇利は
どう思ってる？

そんな俺たちにも
まだしてないことがある。

そう

ごめん…
心の準備がまだ…

勿論、誘ったことは
あるけど、
勇利はこう言うんだ…

恋人の愛を
確かめる行為…
セックスだ。

オーケー。
そう言うなら
男として俺は待つよ。

そう、待つよ。

待つけど…



やっぱり俺を
こんな待たせるなんて

勇利がアエロポート
くらいだよな！



えっ？

もう朝ご飯
できるから！

当番なのに
寝坊してごめん！

最近、遅くまで
なにかやってるよね

何してるの？



え、えっと…

し、調べものを…。

へっ？
クツ
ブツ



あ、これは何か
隠し事をしている
ときの顔。

ほんとに…
嘘つけないんだよね
勇利は。



隠し事は
好きじゃないな。

…でも、
言いたくない。



俺に言えないような事？

そう。

おいしー

…ごめん。

…う、うん。



いーよ。
勇利が言いた
ことは俺も
言わせたくな

さ、冷めない
うちに早く
ご飯を食べよ

あれから1日。

勇利は
ずっと黙っている。

勇利は俺に
何を隠している？

セックスだって…
勇利は俺としたくない

嫌いなかな？





あのね…



でも、

心配なんだ…

ヴィクトルは
分かってくれてると
思うけど…
その…色々初めてで…

だから、
もう少し…

ぼ、僕だって
シたくない訳
じゃないんだ。



ちゅっ♡

ちやんと
好きだから…

…ヴィクトル。

もう少し
待っててね。



おやすみ。

かたがた

おやすみ



あーはがががー

がーすま

あー
おはよう、
ヴィクト...



うわっ!



どうしたの
そのクマ...

夢の中で
寝不足だったんだ...

は？
なにそれ。

目の前も
真っ暗だよ...

だってヴィクトル、
目が開いてないよ。

朝ご飯はもう少し
かかるから...座ってて

うん。



勇利。

…あ、
ああああの、
これは…!!

ん？

えっと、その…

どうするかは、
知ってるけど…
どうしていいのか
分からなくて…

だから…

いいね！

Googlo 男同士セックス方法

ほんと勇利の
こういうところも
大好きだ！

方法は不器用でも
お互いに愛し愛されて…
俺のパートナーが
勇利で良かったと思える。

そして…
俺たちがこういった
関係でもこの先に
進むのはもうすぐそこ…
かもしれない。

でもそれは
別の話。

yuri!!! on ice unofficial fanbook
victornikiforov yurikatsuki

2017*03*26